

第 2 回委員会における主な意見

1. 共生のための科学について

- ・ 持続可能な発展のモデルとして世に打ち出すためには、分かりやすいキャッチフレーズが必要。
- ・ 名称については必要であれば副題をつける。

2. 国際化について

- ・ 国際拠点としての学研都市の位置づけを第 I 章に加えて欲しい。
- ・ 国際化のなかで、特にアジアについての記述を加えること。

3. 未来を拓く知の創造都市について

- ・ 地球環境と調和のとれた街づくり（モデル都市づくり）を行っていくことが必要。
- ・ 実証実験都市として、例えば公共交通優先の先端的な街づくりなどを進めていくことも必要。

4. 都市運営について

- ・ 学研都市を一つの行政区とするようなことが出来ないか。
- ・ 学研都市が取り組んでいる活動について、対外的に発信していくべき。
- ・ 国、自治体、経済界の 3 者が一体となった運営が重要。

5. 「サード・ステージ・プラン」策定後について

- ・ 「サード・ステージ・プラン事業推進会議（仮称）」を設置し、アクションプログラムを策定することが必要。
- ・ 関東の「つくばエクスプレス」を例として、学研都市でも近鉄けいはんな線の開業に合わせて積極的に PR していくべき。